

ぼくのおとうさん

植木 舞旺

ぼくのおとうさんは、あせくさいひとです。ぼくはさんにんかぞくです。おとうさんがおしごとのひは、かぞくでいちばんさいごにかえってきます。おとうさんがかえってくる時、おとうさんのおいがします。

おとうさんがおしごとがおやすみのひは、さかなつりにつれていってくれたり、むしとりにつれていってくれます。ぼくはいきものがだいすきなもので、おとうさんはいっしょうけんめいに、つりかたやむしとりをおしえてくれます。ぼくは、そのじかんがともたのしいです。ぼくがじぶんでさかなをつれたときは、いつもおとうさんが、「すごいじゃん。おもしろいだろう。」

といって、いっしょによるこんでくれます。そのわらったおとうさんのかおは、あせでぬれていました。ぼくもおとうさんも、あせでびっしょりです。

あそびにむちゆうになつて、いえへかえるのをわすれていると、おとうさんのけいたいでんわがなります。ぼくはすぐに、おかあさんからのれんらくだなとおもいました。

「いま、かえるよ。」

と、でんわをきったおとうさんは、

「しかたない。かえろう。」

といって、いえへかえります。あそびにいくときはあるくのがはやいのに、かえるときはゆっくりてをつないであるきます。

いえについて、こえをそろえて、

「ただいま。」

というと、

「はやく、てあしをあらってきて。」

と、ぼくのおかあさんはいつもいやそうなかおをしています。でも、きれいにしてからへやにはいると、

「おかえり。たのしかった。」

と、ぼくのはなしをきいてくれます。

ぼくのおとうさんは、あせくさいひとです。ぼくのおとうさんは、いつもおそくまで、ぼくとおかあさんのためにがんばってしごとをしているから、あせくさいのです。そして、やすみのひには、ぼくとたくさんあそんでくれるから、あせくさいのです。ぼくは、そんなおとうさんがだいすきです。

「おとうさん、いつもありがとう。また、いっしょにつりにいこうね。」

評価のポイント

お父さんとの触れ合いを通じて、子どもらしい素直な感謝の気持ちや伝わってくる。